

『市町村合併』市民意識調査結果



■ 調査結果の見方 ■

- ・ 回答結果は百分率で算出し、小数第2位を四捨五入してあります。このため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ・ 複数回答の場合は合計が100%を超える場合があります。
- ・ グラフとして示したものの中には「無回答」「無効」を省略しているものがあります。

平成14年8月
松山市

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本アンケート調査は、これから合併論議を進めていく上で市民の皆様のお考えをお尋ねし、統計的な分析を交えて、今後の行政運営に反映させるための基礎資料とすることを目的として実施しました。

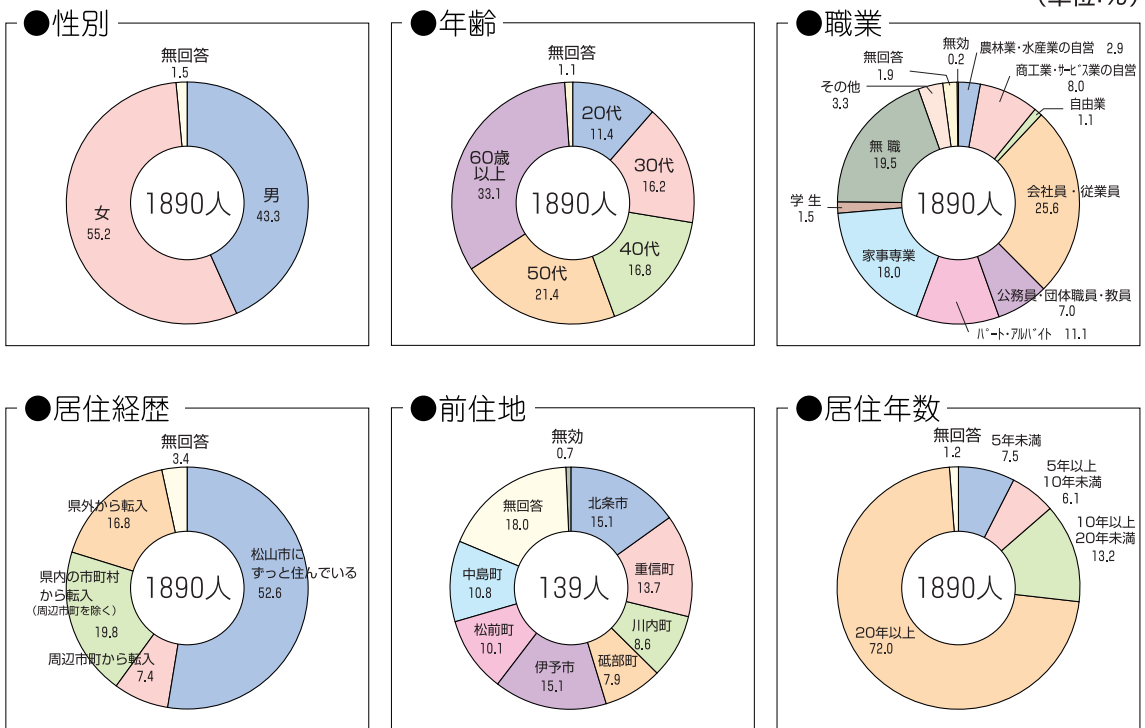
2. 調査対象及び調査方法等

調査地域	松山市全域
調査対象	市内在住の満20歳以上の男女
対象者数	3,500人
抽出法	無作為抽出(住民基本台帳)
調査方法	郵送による配布及び回収
調査時期	平成14年5月～6月

3. 回収結果

	票 数	回 収 率
配布票数	3,500	54.0%
回収票数	1,891	
有効回収票数	1,890	54.0%

4. 回収者の属性



●居住地区

番町	東雲	八坂	素鷲	雄郡	新玉	味酒	清水	桑原	道後	味生	生石	垣生
0.5%	1.4%	1.2%	4.0%	6.2%	1.9%	3.3%	4.4%	5.3%	5.8%	4.1%	4.1%	2.0%
宮前	三津浜	高浜	久枝	潮見	和気	堀江	余土	久米	湯山	日浦	伊台	五明
3.4%	1.3%	2.2%	4.1%	2.9%	2.2%	2.9%	5.1%	5.6%	1.2%	0.1%	1.3%	0.2%
小野	浮穴	石井	荏原	坂本	泊	由良	無回答	無効				
3.2%	1.8%	10.4%	2.0%	0.5%	0.2%	0.0%	3.3%	2.0%				

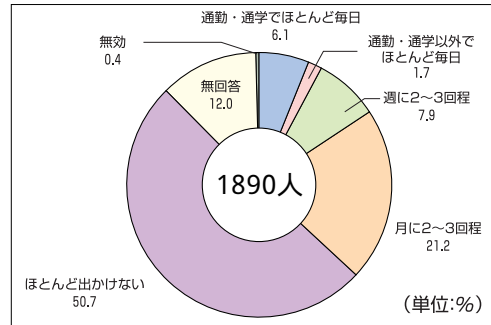
Ⅱ. 生活圏とくらしの現状について

1. 生活圏

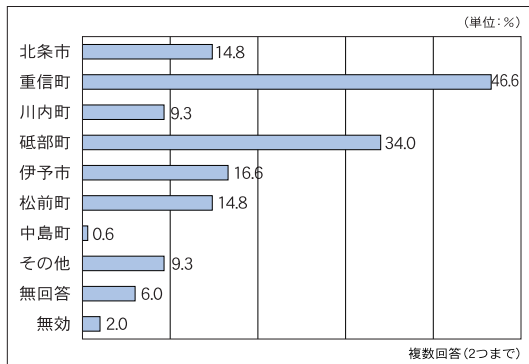
『ほとんど出かけない』が半数、出かける人は重信町・砥部町へ

周辺市町には「ほとんど出かけない」が半数を占めています。

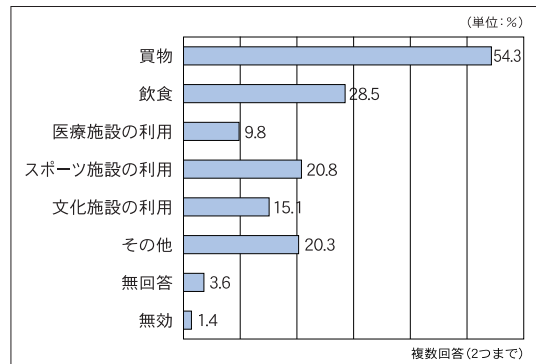
出かけ先としては、重信町と砥部町が圧倒的に多く、目的別で見ると、買物や飲食目的で出かける人が高い割合を占めています。



●主な出かけ先



●出かける目的

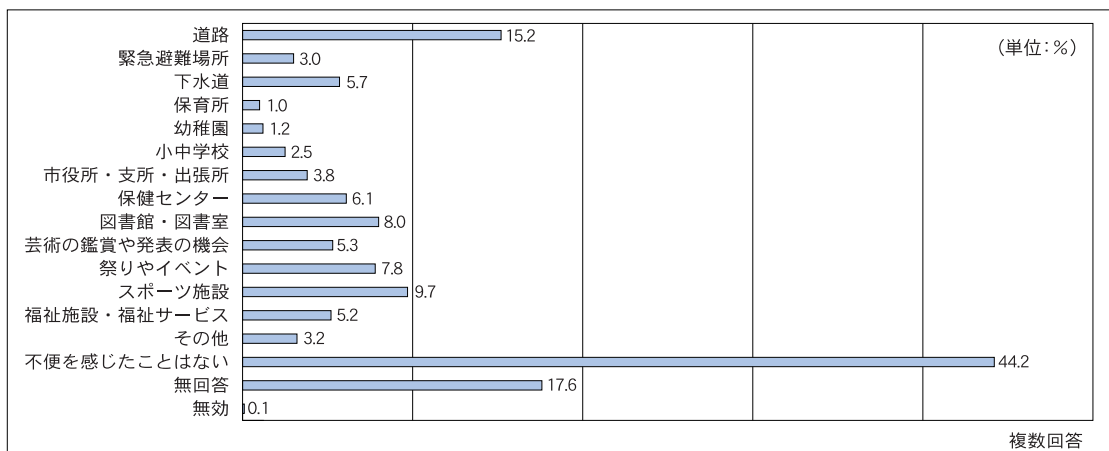


通勤・通学で出かける割合は、北条市(13.0%)、重信町(32.2%)、川内町(13.9%)、砥部町(19.1%)、伊予市(15.7%)、松前町(19.1%)、中島町(0.0%)、その他(10.4%)、無回答(4.3%)となっています。

2. 不便を感じる行政サービス等

『不便を感じたことがない』が多数

行政区域の違いから不便を感じたことがある行政サービスについては、「不便を感じたことはない」(44.2%)が最も高い割合になっています。一方不便を感じたことがある項目の中では「道路」(15.2%)、「スポーツ施設」(9.7%)、「図書館・図書室」(8.0%)となっています。

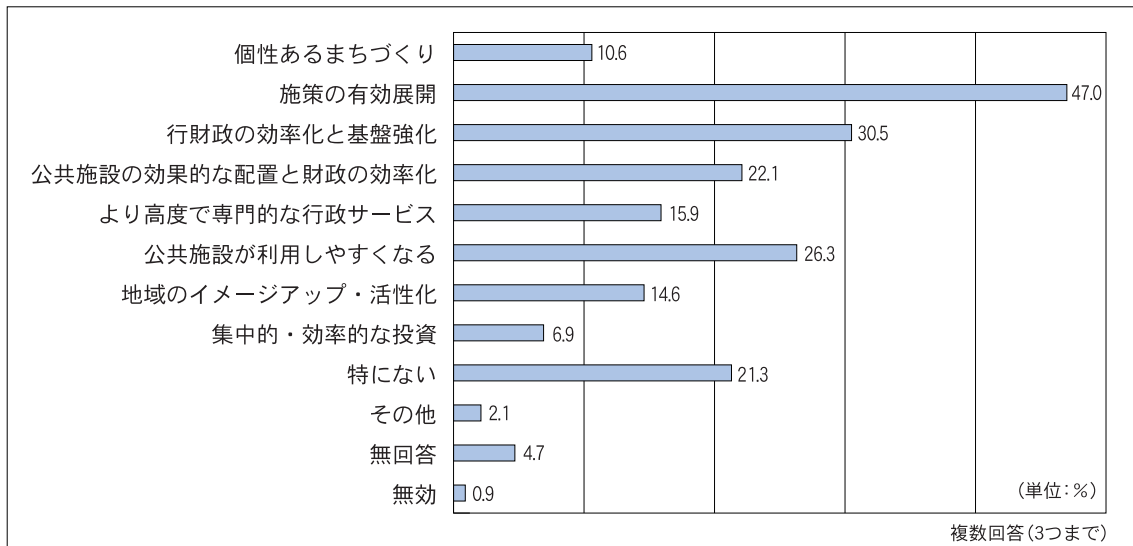


Ⅲ. 実際の市町村合併について

1. 市町村合併をする場合に期待すること

『施策の有効展開や行財政の効率化と基盤強化』を期待

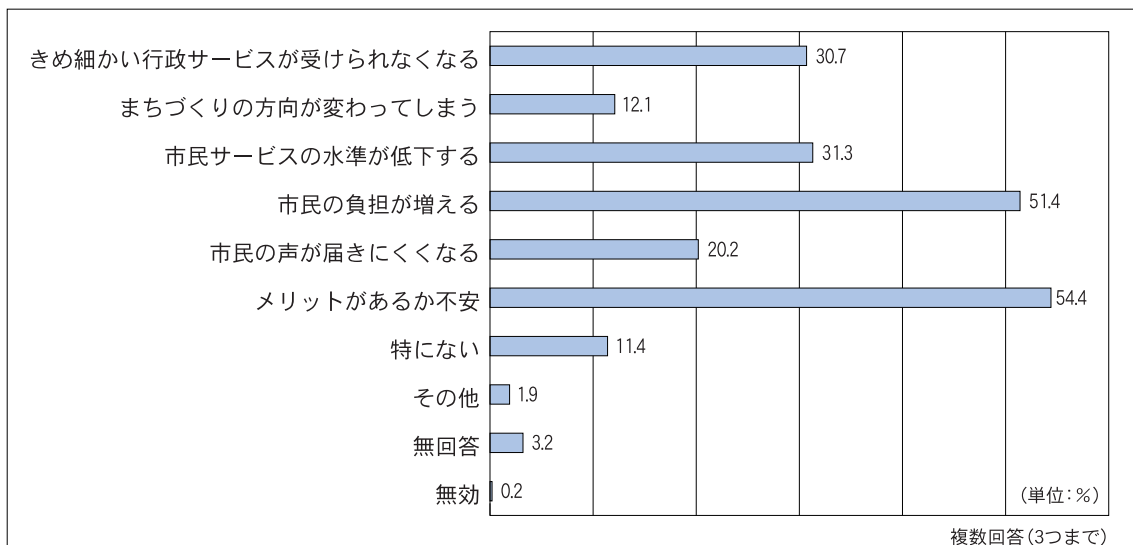
市町村合併をする場合に期待することとしては、「環境問題、観光振興、水資源の調整などを一体的に取り組むことで、施策を有効に展開できる」が約5割（47.0%）となっています。



2. 市町村合併をする場合に心配されること

『合併のメリットや市民負担の増加』に懸念

市町村合併をする場合に心配されることについては、「合併してもメリットがあるかどうか不安である」、「これまでより税や保険料等の額が大きくなり市民の負担が増える」が50%を超え、上位に挙げられています。



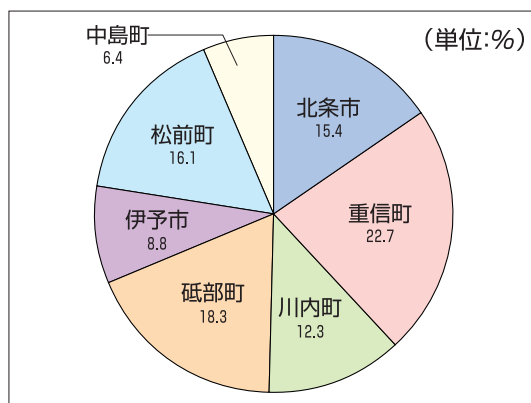
3. 具体的な組み合わせ

多様な合併パターンを選定

松山市と「重信町」の組み合わせが最も多く、次いで松山市と「北条市」「重信町」「川内町」「砥部町」「伊予市」「松前町」「中島町」の組み合わせ、松山市と「北条市」の組み合わせの順となっています。

●組み合わせにおける市町別合計の割合

組み合わせにおける市町ごとの合計は、「重信町」(22.7%)が最も多く、次いで「砥部町」(18.3%)、「松前町」(16.1%)、「北条市」(15.4%)の順となっています。また、地区別で見ると、住んでいる地域の周辺市町を望む割合が高い傾向にあります。



●具体的な合併パターン (上位10位)

1 位	重信町
2 位	北条市 重信町 川内町 砥部町 伊予市 松前町 中島町
3 位	北条市
4 位	重信町 砥部町
5 位	重信町 川内町
6 位	砥部町 伊予市 松前町
7 位	砥部町
8 位	北条市 重信町 川内町 砥部町 伊予市 松前町
9 位	重信町 砥部町 松前町
10 位	北条市 重信町 川内町

●地区別に見た組み合わせにおける市町の割合 (無回答・無効等をのぞく)

地区	回答者数	(単位:%)						
		北条市	重信町	川内町	砥部町	伊予市	松前町	中島町
中央	350人	46.6	64.0	37.4	55.4	29.1	53.7	24.3
東	368人	39.4	78.3	41.8	52.4	22.8	41.0	18.2
西	267人	47.6	59.6	30.7	47.9	30.0	54.7	19.9
南	319人	39.2	68.3	36.1	64.9	26.6	47.0	14.1
北	195人	66.2	61.0	30.8	47.7	22.1	43.1	18.5

中央：
番町・東雲・八坂・素鷲・雄都・新玉・味酒・清水

東：
日浦・湯山・伊台・道後・桑原・久米・小野

西：
味生・生石・垣生・宮前・三津浜・高浜・由良・泊

南：
石井・余土・浮穴・荏原・坂本

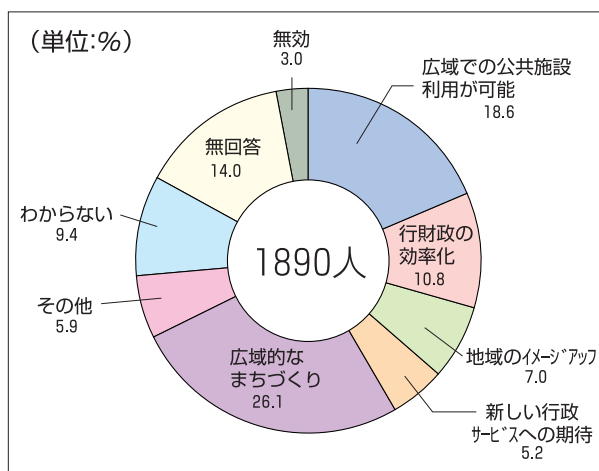
北：
和気・堀江・久枝・潮見・五明

※このブロックは今回分析のために便宜的に分類したものです。(複数回答)

組み合わせを選んだ理由

『広域的なまちづくり』、『広域での施設利用』が選定の理由

合併の組み合わせを選んだ理由については、「広域的なまちづくりができるから」(26.1%)が最も高くなっていますが、「広域での公共施設利用が可能になるから」(18.6%)が占める割合も高くなっています。

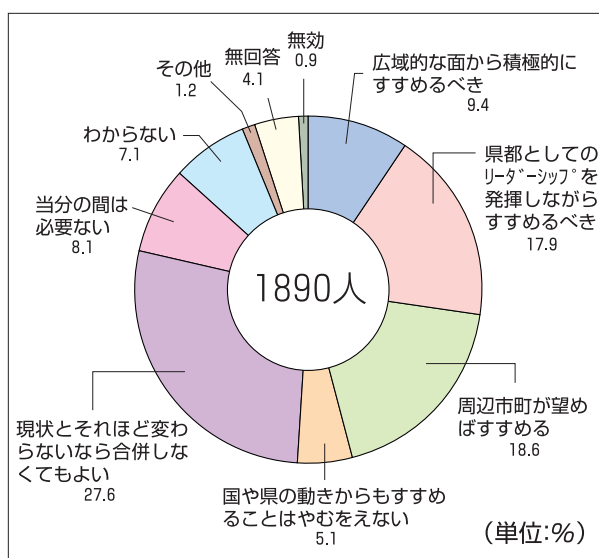


4. 合併についての考え方

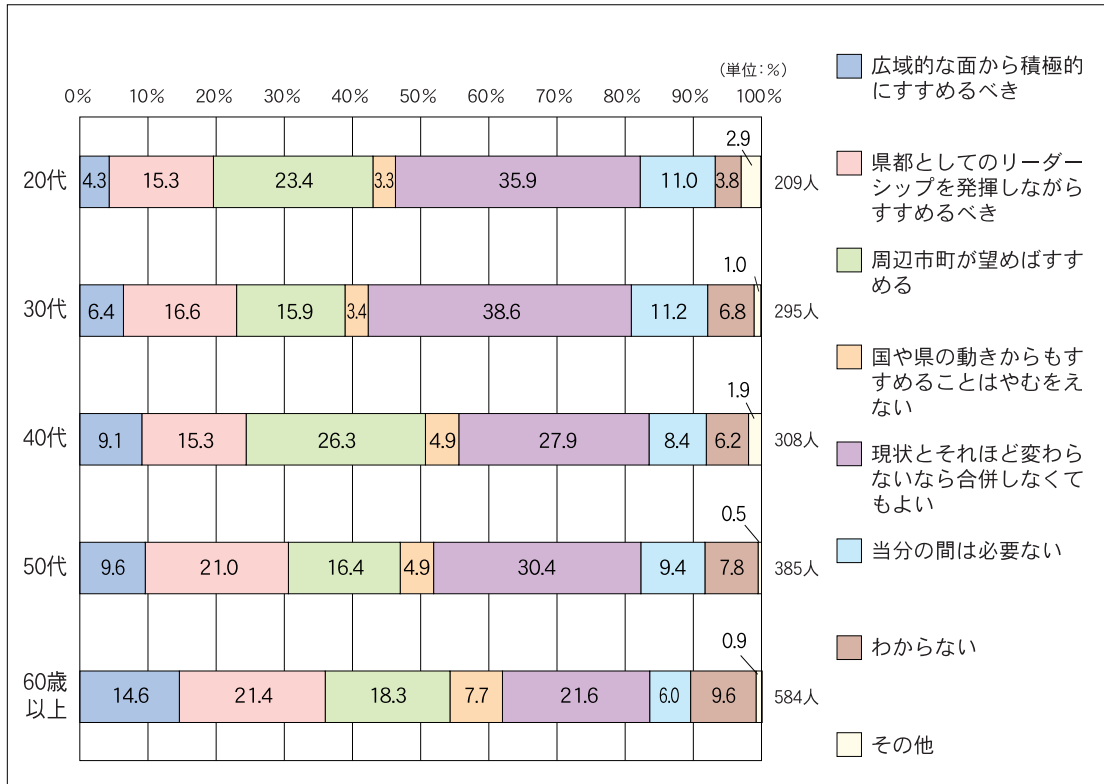
『すすめるべき』と『現状とそれほど変わらないならしなくてもよい』は、ほぼ同じ割合

望ましい合併の進め方については、「広域的な面から積極的にすすめるべき」と「県都としてのリーダーシップを発揮しながらすすめるべきである」が合わせて(27.3%)、「周辺市町が望めばすすめる」と「国や県の動きからもすすめることはやむをえない」が合わせて(23.7%)、「現状とそれほど変わらないのであれば合併しなくてもよい」と「当分の間は必要ない」が合わせて(35.7%)となっています。

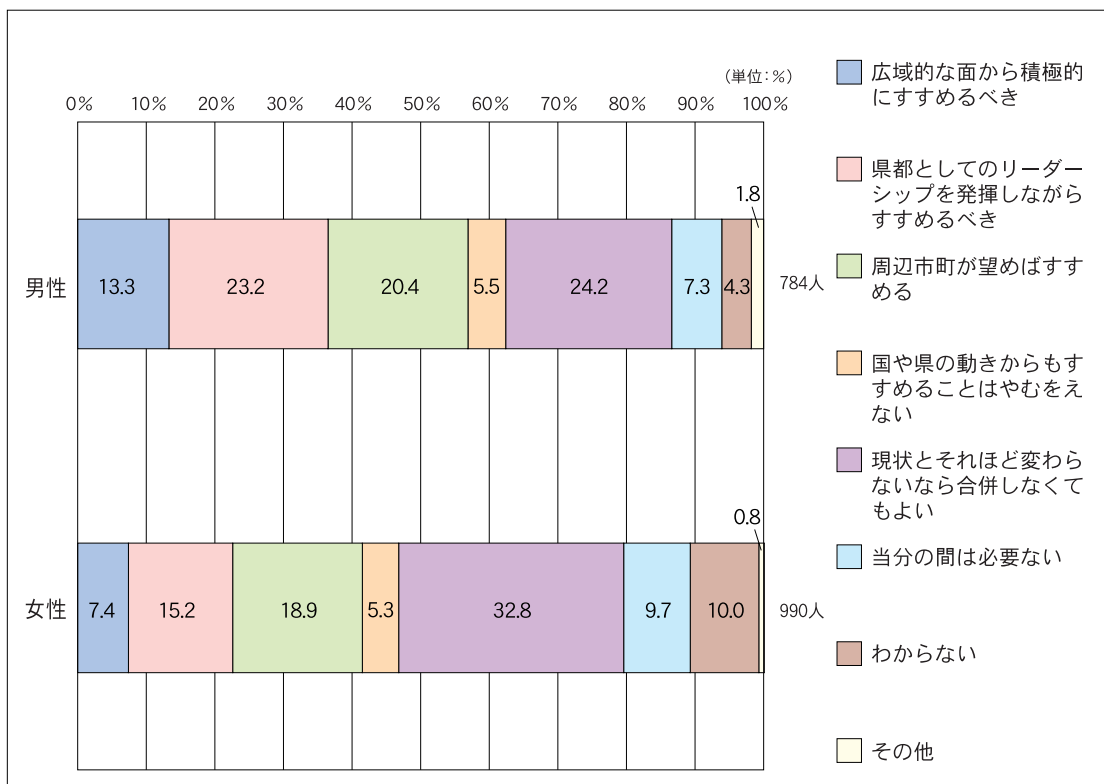
年齢別、男女別に見ると、年齢層が高くなるにつれて、また女性に比べて男性の方が「広域的な面から積極的にすすめるべき」と「県都としてのリーダーシップを発揮しながらすすめるべきである」という割合が高くなっています。一方低い年齢層の20代・30代及び女性の方が「現状とそれほど変わらないのであれば合併しなくてもよい」という割合が高くなっています。



●年齢別に見た合併のすすめかた (無回答・無効票等は除く)



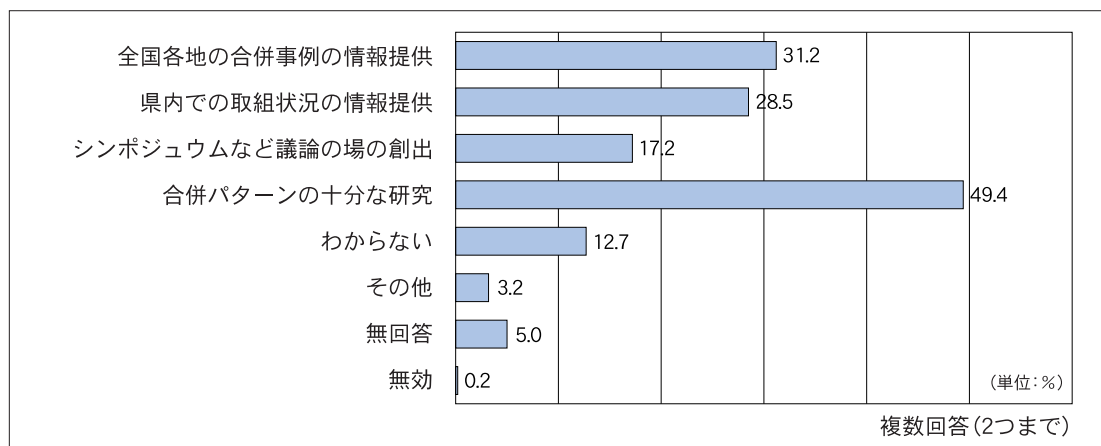
●男女別に見た合併のすすめかた (無回答・無効票等は除く)



5. 市町村合併の正しい理解のために必要なこと

正しい理解のためには『合併パターンの研究』が第1位

市町村合併の正しい理解のために必要なことについては、「いくつかの合併パターン(組み合わせ)の十分な研究」(49.4%)が最も高い割合になっています。



6. 地域イメージとして望ましいもの

望ましい地域のイメージは『安全で快適なまち』が第1位

望ましい地域のイメージについては、「災害や犯罪のない安全で快適なまち」(43.1%)が最も高い割合になっています。

